

令和3年度 学校評価

学校評価について

南奈良看護専門学校では学校運営評価を実施しています。評価を実施することで自己改革と教育の質の向上を目指し、学校運営の改善に努めています。教育方法と教育内容を評価する①授業評価、②学生満足度評価の結果を参考に、教育機関としての機能を包括的に判定する学校運営評価表を分析して学校評価を行っています。令和4年2月8日学校自己評価委員会、令和4年3月8日に学校関係者評価委員会を実施しました。評価の結果を次年度の組織目標に反映し、より良い学校運営につなげていきます。

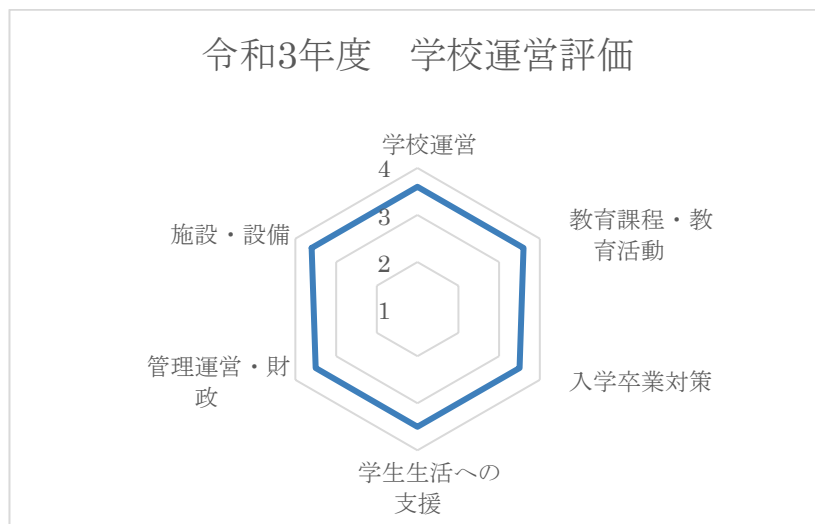
学校運営評価

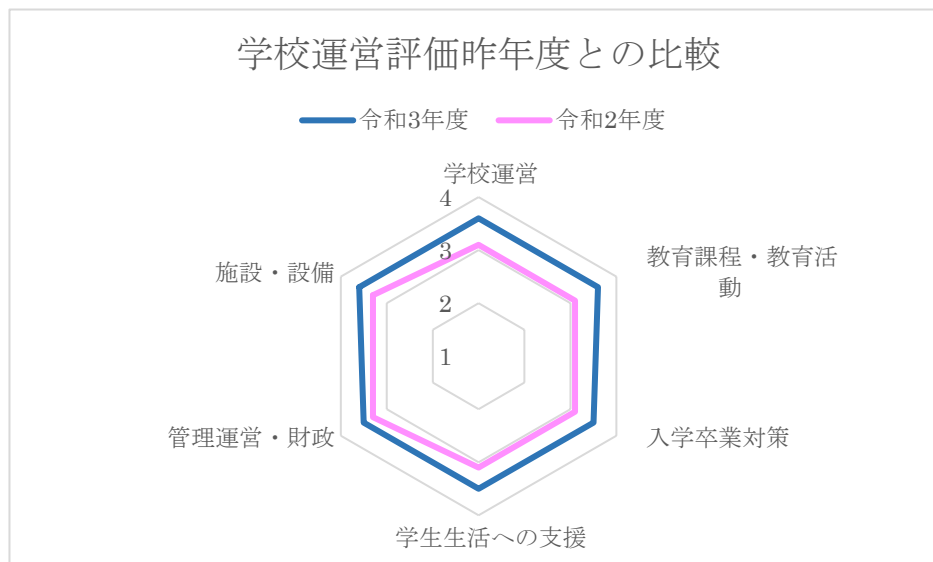
学校運営評価表は厚生労働省の看護師等養成所の教育活動等に関する自己評価指針：看護師等養成所自己点検・自己評価指針と文部科学省障害学習政局の専修学校における学校評価ガイドラインをもとに、教育活動の自己評価のためにカテゴリーに分類し作成した評価表です。10名の専任教員が4段階評価【4：良い(評価結果を基に検討し、対策を立て実施している) 3：普通(現状把握の資料に基づき、問題の有無を明らかにしている) 2：やや不十分(調査や情報を収集して現状を把握している) 1：不十分(評価していない)】したものをカテゴリー別に平均を示したものです。

令和3年度の学校運営評価は以下のとおりでした。

学校運営評価の概要

評価領域	項目数	主な内容	結果
学校運営	6	学校運営方針、目標設定、学校評価、組織・運営	3.6
教育課程・教育活動	13	カリキュラム、教育計画、教育支援、授業間の関連や協力体制、評価	3.6
入学卒業対策	5	入学生の確保、国家試験対策、卒後のキャリア形成	3.5
学生生活への支援	5	就職支援、学生相談、健康管理、保証人との連携、課外活動	3.5
管理運営・財政	4	予算と執行、人権擁護、危機管理体制、学校運営	3.5
施設・設備	5	施設・設備、教材の整備、実習室、福利厚生施設	3.6





学校運営評価結果と今後への活用

令和3年度も COVID-19 の感染拡大による影響を受けましたが、新規に導入した ICT 教材を使用し、遠隔授業も実施しながらカリキュラムを円滑に進行することができました。

評価委員会で看護専門職としてのアイデンティティの形成・確立に時間を要するため、看護職者としての幹を育み、継続して看護職者として頑張ることができる人材の育成の必要性について意見がありました。

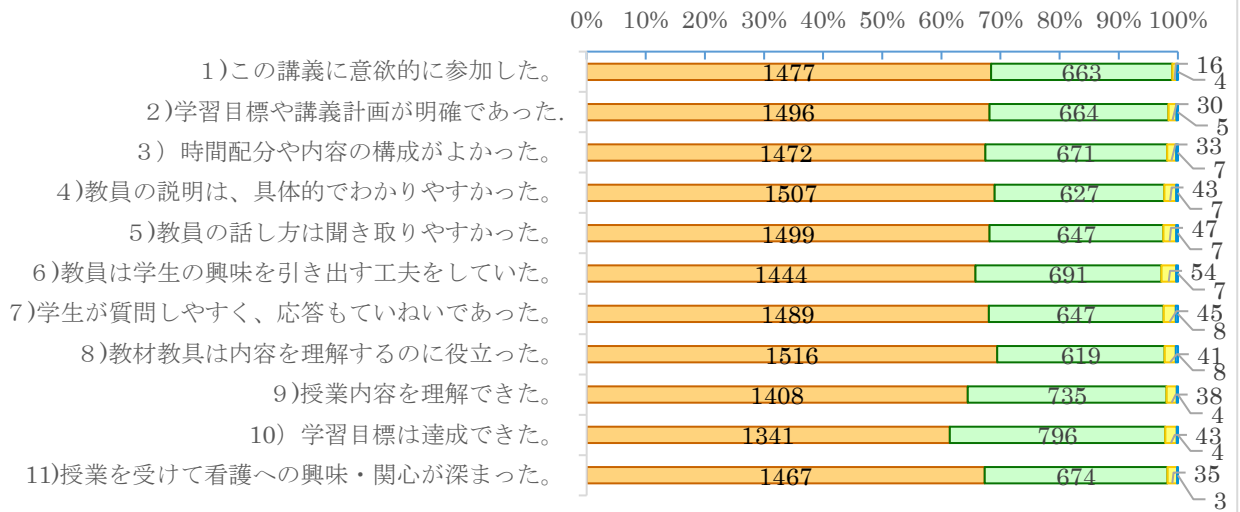
第5次「保健師助産師看護師学校養成所指定規則」および「看護師等養成所の運営に関する指導ガイドライン」の改正に伴い、カリキュラムを改正しました。4月より新しいカリキュラムを運用しながら時代のニーズにあう、奈良県南和地域の保健・医療・福祉に貢献できる人材の育成に努めていきます。次年度は授業や課外活動を通して、看護職としてのマインドの育成を目標として職員一同励んでまいります。

資料 1. 授業評価について

授業評価は、授業終了時に講義、演習、実習別に学生が LMS のアンケート機能を用いて各質問に対して4段階【とてもそう思う、そう思う、そう思わない、全くそう思わない】で評価しています。実施した結果を担当の講師にフィードバックし、講師が授業自己評価を実施し次年度の講義につなげるようにしています。令和3年度に実施した講義：基礎分野、専門基礎分野、専門分野、統合分野に実施した講義のうち15時間以上の講師の講義57科目(アンケート総数2160)についての結果です。授業を振り返り、学生が内容を理解でき、学習目標が達成できるように努めます。

令和3年度 授業評価

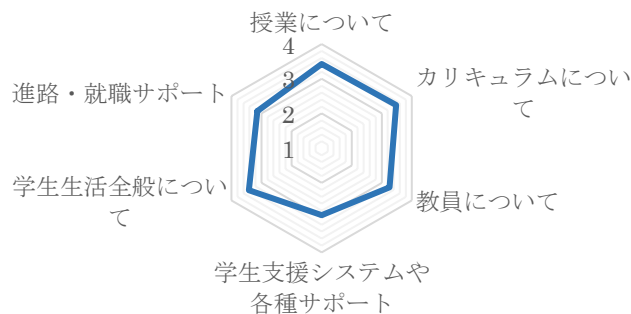
■ とてもそう思う ■ そう思う ■ そう思わない ■ 思わない



資料2 学校満足度評価

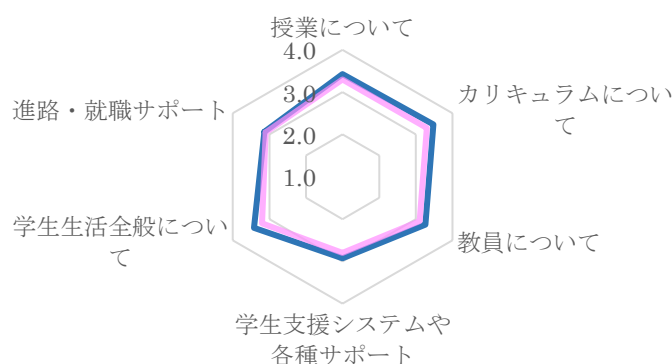
学生満足度評価は令和4年1月末にLMSを使用して学生満足度アンケート調査を実施した結果です。質問に対して【そう思う、ややそう思う、あまりそう思わない、そう思わない】の4段階で回答した結果で、学生107名中106名から回答を得ました。

令和3年度 学校満足度評価



学校満足度評価昨年度との比較

— 令和3年度 — 令和2年度



令和3年度学生満足度調査

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

